



5年学年通信 12月号  
徳島文理小学校  
令和7年11月28日発行

## 1年の締めくくり

令和7年もあと1か月を残すのみとなりました。今年は暑い夏の影響なのか、秋らしさを感じることが少ないままに、冬をむかえているように感じます。12月になると、本格的な冬将軍の到来です。街のあちこちからクリスマスソングが聞こえ始め、年の瀬も押し迫ってきたことを感じさせられます。

「実りの学期」といわれる2学期も収穫の時を迎えるました。運動会や委員会活動では、6年生と力を合わせながら、高学年としての役割を立派に果たしてきました。また、奈良社会見学旅行では、よく見て、よく聞いて、歴史を探してくることができました。このほかにも、学校生活のさまざまな場面で、一人ひとりの活躍する様子がたくさん見られました。子どもたちは、友達関係の中で、また毎日のねばり強い学習への取り組みを通して、個人的にも成長してきました。

今月は、1年のしめくくりの月にもなります。一人ひとりが大きな実りを手にすることができるよう、生活や学習のまとめをしっかりさせたいと思っています。ご家庭でも、この1年を振り返り、成長を喜ぶとともに、新しい年への希望が持てるような月にしていただきたいと願っています。

## 12月の集金 ￥0

※12月の集金は今までの集金より相殺して0円となります。

※2学期に行った集金の会計報告を裏面に掲載しております。

## 12月の学習予定

国語 やなせたかしーアンパンマンの勇気  
あなたは、どう考える 冬の朝  
わらぐつの中の神様

社会 未来とつながる情報

算数 面積 円の面積  
平均とその利用  
単位量あたりの大きさ

理科 ふりこのきまり



## 個人懇談

新年を迎えると、まもなく6年生になる子どもたち。いよいよ最高学年です。10~11歳の節目を乗り越えて、「自分」というものをつくっていく年齢に入ります。

思春期をどう乗り越えるか・・・これが素敵な大人になるためにとても重要なことです。そして、この試練の時、そばにいる大人がどうかかわり、支援していくかが、とても大切になってきます。

10分という短い時間ではありますが、ご家庭や学校でのお子様の様子について話し合い、有意義な懇談となりますよう、ご協力をお願いします。

なお、日程表を裏面に掲載しておりますので、ご確認ください。

## 充実した楽しい冬休みにしよう

### ① 新年の抱負を

最高学年になる新年を迎えるにあたり、期待を込めて、新たな決意を持たせたいものです。新年の目標や抱負を絵馬や書き初めなどにまとめさせるのもよいでしょう。

### ② お役に立ちます

冬休みは、大掃除や来客の接待など、家族の一員としての自覚を高める良い機会です。家族のために役立つ喜びや、家族に感謝する気持ちが持てるように、進んで協力させてください。

### ③ チャレンジしよう

年末年始のある冬休みは、伝統的な行事にふれるよい機会です。調べたり、体験したりできることがたくさんあり、日本の風習だけでなく、地域ごとの行事にも積極的に参加させたいものです。

## 防寒の服装について

制服だけで寒い場合は、下記の服や小物を着用してもかまいません。

◇セーター 紺色無地のVネック

◇ベスト 紺色無地のVネック

◇手袋 登下校時と外で遊ぶときだけ

◇タイツ 黒で無地のもの

◇ネックウォーマー 首回りの保温用に使う

◇コート

- ・バス通学及び徒歩通学の子のみ登下校時着用可  
(ただし、病気等で必要な時はお迎えの場合でも担任に申し出ていただいたら着用可)
- ・通学用です。デザインがシンプルで、地味なものを選んでください。
- ・必ず記名してください。

日	曜日	行事
1	月	朝会
2	火	期末テスト(国/算)
3	水	集金日 委員会
4	木	
5	金	社会科校外学習:徳島新聞印刷センター
6	土	
7	日	
8	月	朝会
9	火	
10	水	クラブ
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	個人懇談
16	火	
17	水	代表委員会・交通お世話係
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	給食最終日 大掃除(下校バス 14:56)
24	水	終業式(下校バス 11:26)
25	木	冬休み
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	大晦日

1月8日(木) 3学期始業式

## 感染症にご注意を

本年度の5年生は、とても元気な学年です。寒さに負けず、運動場で鉄棒やドッジボールに打ち込む子どもが多く、友達同士で申し合わせて、運動場で楽しそうに過ごしている姿をよく目にします。今の時期、子どもたちは、体や心が大きく変化し始める時期ですが、保護者の方々のご協力もあり元気に過ごしています。

けれども、冬休み中そして来年も、インフルエンザやノロウィルス、コロナウィルスなど感染症への不安はぬぐえません。様々な感染症とともに過ごすことへの対策をしっかりと行って、冬を乗り越えましょう。

